

令和元年度 学校評価最終報告（石川県立医王特別支援学校小松みどり分校）

児童生徒8人、教員7人、保護者9人

重点目標	具体的取組	主担当	実現状況の達成度判断基準 (判断基準A+B 70%以上)	集計結果	分析（結果と課題及び改善策等）
1: 児童生徒の自立 (1)生活習慣を身につけるとともに社会性を養う。 (2)学力をつける。 (3)家庭との連携に努める。	① 登下校時に自分から進んで挨拶を行う。 保→①、児→①、教→①	指導課	A：挨拶が十分できた B：挨拶がだいたいできた C：挨拶が少ししかできなかった D：挨拶ができなかった	A：2（児生） 3（保護者） 3（教員） B：5 5 3 C：1 1 1 D：0 0 0	保護者：A+B71.4%→88.9%、児童生徒：A+B71.4%→87.5%で、良い評価であった。昨年度からの取り組みを継続し、積極的な働きかけで挨拶が難しい生徒も、本人なりの方法で挨拶をしようとする場面が増えている。
	② 自主的な学習を行い、学習の遅れを補う。 保→②、児→②、教→②	教務課	A：毎日した B：ほとんど毎日した C：あまりしなかった D：しなかった	A：0（児生） 0（保護者） 0（教員） B：4 4 4 C：2 3 3 D：2 2 0	保護者：A+B42.9%→44.4%、児童生徒：A+B28.6%→50.0%で自主的な学習については中間評価よりもやや上昇している。学習に対する苦手意識を少しでも解消できる指導法について今後も工夫していく必要がある。
	③ 保護者と児童生徒の病状や生活について十分話し合う。 保→④、教→③	総務課	A：十分満足できる B：満足できる C：あまり満足できない D：満足できない	A： 2（保護者） 4（教員） B： 6 3 C： 1 0 D： 0 0	保護者：A+B85.7%→88.9%で概ね教員と話し合うことができています。今後も積極的に話し合いを行い、保護者の理解を得られるよう努めていきたい。
2: 教職員の資質の向上 (1)教科の専門性を高め、指導力・授業力の向上に努める。	④ 指導法の改善や教材研究に努める。 (児童生徒にわかりやすい授業を行う) 保→⑤、児→⑤、教→④	教務課	A：十分満足できる B：満足できる C：あまり満足できない D：満足できない	A：2（児生） 0（保護者） 3（教員） B：3 6 4 C：1 1 0 D：1 1 0	児童生徒：A+B85.7%→62.5%、保護者：A+B71.4%→66.7%で減少している。個々の実態に応じた指導の工夫やICT機器等の効果的な活用など今後も授業改善に努力していきたい。
	⑤ 外部の研修会に参加し、研修内容を校内で周知する。 教→⑤	教務課	A：年に3回以上周知した B：年に2回周知した C：年に1回周知した D：参加しなかった	A： 0（教員） B： 7 C： 0 D： 0	教員：A+B100%で、全教員が授業研究会や指導方法等の様々な研修会に複数回以上参加した。今後も専門性・指導力向上に向けて取り組んでいきたい。
	⑥ 公開授業や研究授業を実施する。 教→⑥	教務課	A：年に3回以上行った B：年に2回行った C：年に1回行った D：行わなかった	A： 1（教員） B： 6 C： 0 D： 0	教員：A+B100%で、年2回以上の公開授業等を行っている。授業後の整理会での意見を活かし、授業改善に努めていきたい。

重点目標	具体的取組	主担当	実現状況の達成度判断基準 (判断基準A+B 70%以上)	集計結果	分析（結果と課題及び改善策等）
(2) 児童生徒の理解と安心して学べる環境整備に努める。	⑦ 教員が児童生徒の病状について理解を図ると共に個別の教育支援計画を作成し、児童生徒のニーズに応える。 保→⑦、教→⑧	教務課	A：十分満足できる B：満足できる C：あまり満足できない D：満足できない	A： 0 (保護者) 3 (教員) B： 8 4 C： 1 0 D： 0 0	保護者：A+B57.1%→88.9%で、評価が上昇した。今後も個別の教育支援計画を基に保護者と話し合いを行い、個々のニーズに応じた支援を続けていきたい。
	⑧ 登校が難しい児童生徒への病状等に応じた登校支援を行う。 保→⑪、児→⑫	指導課	A：十分満足できる B：満足できる C：あまり満足できない D：満足できない	A： 0 (児生) 3 (保護者) B： 3 4 C： 4 1 D： 1 1	児童生徒：71.4%→37.5%で減少、保護者：71.4→77.8%で少し上昇した。今後さらに、保護者や医療と協力、連携し、安心して登校できる関係作りや登校意欲を高める取り組みを工夫していきたい。
3: センターの機能 (1) 医療機関及び関連機関との連携に努める。	⑨ 病弱教育の資質の向上を図り、センター的機能を強化する。 保→⑧、教→⑨	指導課	A：十分満足できる B：満足できる C：あまり満足できない D：満足できない	A： 4 (保護者) 4 (教員) B： 5 3 C： 0 0 D： 0 0	保護者：A+B85.7%→100%で、保護者等からの相談依頼に対して適切に対応している。今後も丁寧な対応を続けていきたい。
	⑩ 医療機関と児童生徒の病状等について情報交換を行う。 教→⑩	総務課	A：十分満足できる B：満足できる C：あまり満足できない D：満足できない	A： 4 (教員) B： 3 C： 0 D： 0	教員：A+B100%で、定期的に医師と病状について情報交換を行っている。これをもとにして児童生徒の支援に努めている。今後も十分な情報共有に努め、保護者からの信頼に応えられるように努力していきたい。
	(2) 前籍校・小中学校との連携に努める。	⑪ 前籍校と、児童生徒の前籍校への復帰について意見交換を行う。 教→⑪	総務課	A：十分満足できる B：満足できる C：あまり満足できない D：満足できない	A： 2 (教員) B： 5 C： 0 D： 0
4: 教職員の効率的・効果的な時間管理の推進 (1) 業務終了時刻を意識して、教材研究や授業準備、校務分掌等の業務の遂行に努める。	⑫ 時間外勤務の縮減に向けて、各種会議や校務分掌等の業務の見直しを行う。 教→⑫	総務課	A：十分満足できる B：満足できる C：あまり満足できない D：満足できない	A： 2 (教員) B： 4 C： 1 D： 0	教員は、時間外勤務の縮減の意識を持って業務に取り組んでいる。今後も効率的な業務の遂行を心がけ、よりよい教育活動の実践を目指していく。